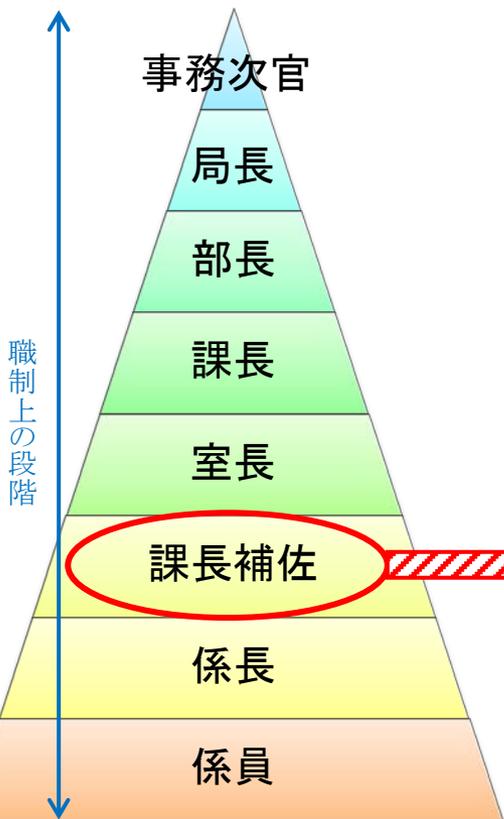


標準的な官職

職制上の段階・職務の種類(一般行政、公安、税務等)に応じ、政令で規定

一般行政・本省内部部局等の例



標準職務遂行能力

標準的な官職ごとに、その職務を遂行する上で発揮することが求められる能力(内閣総理大臣決定)

課長補佐の例

[倫理] 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。
[企画・立案、事務事業の実施] 組織や上司の方針に基づいて、施策の企画・立案や事務事業の実施の実務の中核を担うことができる。
[判断] 自ら処理すべき事案について、適切な判断を行うことができる。
[説明・調整] 担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と粘り強く調整を行うことができる。
[業務遂行] 段取りや手順を整え、効率的に業務を進めることができる。
[部下の育成・活用] 部下の指導、育成及び活用を行うことができる。

人事評価(能力評価)

各府省庁は、内閣総理大臣との協議を経て人事評価実施規程を定め、標準職務遂行能力を踏まえた能力評価の評価項目を設定。

※「人事評価マニュアル」(平成21年12月総務省・人事院)において、評価項目例を示している。

総務省の例

評価項目及び行動／着眼点	
<倫理>	
1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	
① 責任感	国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。
② 公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
<企画・立案、事務事業の実施>	
2 組織や上司の方針に基づいて、施策の企画・立案や事務事業の実施の実務の中核を担う。	
① 知識・情報収集	業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。
② 事務事業の実施	事案における課題を的確に把握し、実務担当者の中核となって、施策の企画・立案や事務事業の実施を行う。
③ 成果認識	成果のイメージを明確に持ち、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。
<判断>	
3 自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	
① 役割認識	自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねられることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。
② 適切な判断	担当する事案について適切な判断を行う。
<説明・調整>	
4 担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と粘り強く調整を行う。	
① 信頼関係の構築	他部局や他省庁のカウンターパートと信頼関係を構築する。
② 説明	論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。
③ 交渉	相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張し、粘り強く対応する。
<業務遂行>	
5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	
① 段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。
② 柔軟性	緊急時、見通しに変化した時などの状況に応じて、打つ手を柔軟に変える。
③ 業務改善	作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。
<部下の育成・活用>	
6 部下の指導、育成及び活用を行う。	
① 作業の割り振り	部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
② 部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。

標準的な官職及び標準職務遂行能力（一般行政）

標準的な官職 部局又は機関等	事務次官	局長	部長	課長	室長	課長補佐	係長	係員
本省内部部局等	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部局を横断する課題や府省の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、局の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、課の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、担当業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>	<p>[倫理]</p> <p>① 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行することができる。</p>
	<p>[構想]</p> <p>② 大局的な視野と将来的な展望に立って、所管行政を推進することができる。</p>	<p>[構想]</p> <p>② 所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先々を見通しつつ、国民の視点に立って、局の重要課題について基本的な方向性を示すことができる。</p>	<p>[構想]</p> <p>② 所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先々を見通しつつ、国民の視点に立って、担当分野の重要課題について基本的な方針を示すことができる。</p>	<p>[構想]</p> <p>② 所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、国民の視点に立って、行政課題に対応するための方針を示すことができる。</p>	<p>[企画・立案]</p> <p>② 組織方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、課題を的確に把握し、施策の企画・立案を行うことができる。</p>	<p>[企画・立案、事務事業の実施]</p> <p>② 組織や上司の方針に基づいて、施策の企画・立案や事務事業の実施の実務の中核を担うことができる。</p>	<p>[課題対応]</p> <p>② 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、問題点を的確に把握し、課題に対応することができる。</p>	<p>[知識・技術]</p> <p>② 業務に必要な知識・技術を習得することができる。</p>
	<p>[判断]</p> <p>③ 部局を横断する課題や府省の重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。</p>	<p>[判断]</p> <p>③ 局の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。</p>	<p>[判断]</p> <p>③ 担当分野の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行うことができる。</p>	<p>[判断]</p> <p>③ 課の責任者として、適切な判断を行うことができる。</p>	<p>[判断]</p> <p>③ 担当業務の責任者として、適切な判断を行うことができる。</p>	<p>[判断]</p> <p>③ 自ら処理すべき事案について、適切な判断を行うことができる。</p>	<p>[協調性]</p> <p>③ 上司・部下等と協力的な関係を構築することができる。</p>	<p>[コミュニケーション]</p> <p>③ 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとることができる。</p>
	<p>[説明・調整]</p> <p>④ 所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、特に重要な課題について、高次元の調整を行い、合意を形成することができる。</p>	<p>[説明・調整]</p> <p>④ 所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、困難な調整を行い、合意を形成することができる。</p>	<p>[説明・調整]</p> <p>④ 所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、関係者と調整を行い、合意を形成することができる。</p>	<p>[説明・調整]</p> <p>④ 所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、関係者と調整を行い、合意を形成することができる。</p>	<p>[説明・調整]</p> <p>④ 担当する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行うことができる。</p>	<p>[説明・調整]</p> <p>④ 担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と粘り強く調整を行うことができる。</p>	<p>[説明]</p> <p>④ 担当する事案について分かりやすい説明を行うことができる。</p>	<p>[コミュニケーション]</p> <p>④ 意欲的に業務に取り組むことができる。</p>
	<p>[業務運営]</p> <p>⑤ 国民の視点に立ち、不断の業務見直しを府省内に徹底することができる。</p>	<p>[業務運営]</p> <p>⑤ 国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組むことができる。</p>	<p>[業務運営]</p> <p>⑤ 国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組むことができる。</p>	<p>[業務運営]</p> <p>⑤ コスト意識を持って効率的に業務を進めることができる。</p>	<p>[業務運営]</p> <p>⑤ コスト意識を持って効率的に業務を進めることができる。</p>	<p>[業務遂行]</p> <p>⑤ 段取りや手順を整え、効率的に業務を進めることができる。</p>	<p>[業務遂行]</p> <p>⑤ 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行することができる。</p>	<p>[業務遂行]</p> <p>④ 意欲的に業務に取り組むことができる。</p>
	<p>[組織統率]</p> <p>⑥ 強い指導力を発揮し、部局及び機関の統率を行い、成果を挙げることができる。</p>	<p>[組織統率]</p> <p>⑥ 指導力を発揮し、部下の志気を高め、組織を牽引し、成果を挙げることができる。</p>	<p>[組織統率]</p> <p>⑥ 指導力を発揮し、部下の統率を行い、成果を挙げることができる。</p>	<p>[組織統率・人材育成]</p> <p>⑥ 適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行うことができる。</p>	<p>[組織統率・人材育成]</p> <p>⑥ 適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行うことができる。</p>	<p>[部下の育成・活用]</p> <p>⑥ 部下の指導、育成及び活用を行うことができる。</p>		